



羽合小学校 学校通信

平成28年1月7日 NO.44

準備の季節

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

さて、わたしたちは古くから月と日が単数の奇数で重なる日を「重陽（ちょうよう）」と言ってめでたい日としてきました。1月1日の他に3月3日、5月5日、7月7日、9月9日の五日間を五節句として神祭りをする習慣があるのはそのような理由からです。

ところで一月にはおよそ50の呼び名があることをご存じでしょうか？正月、睦月（むつき）のほかに嘉月（かげつ）、正陽月（しょうようがつ）芳歳（ほうさい）甫年（ほねん）太郎月（たろうづき）・・・など調べるとたくさん呼び名が出てきます。

正月の「正」は「改める、改まる」という意味で、改まった月という意味、睦月というのは一家が仲良く親しみ合う月といった意味を持っています。また、一月は一年の始まりなので「元（はじめ）」とも言い、一月一日は「元日（がんど）」と呼びます。

多くの国ではこの正月を寒い時期に定めています。**やがて来る春を迎える準備をする季節**にしているのです。学校も年が改まると3

学期、いよいよ来年度の準備が始まります。では準備はどのように進めていくのでしょうか？

「改める（あらためる）」とは「振り返る」ことから始まります。今までの振り返って良いところを伸ばし、良くなかったことをまさに「改める」ことが来年度への準備です。苦手なこと弱いことがあれば、どのようにしたら克服できるか考え工夫してみる。それが進学、進級に向けた準備です。教科だけでなく、学習への取り組みはどうか、生活はどうか、振り返って「改める」取り組みを始めて下さい。

授業へ集中して取り組みましたか？

宿題にきちんと取り組みましたか？

忘れ物はしませんでしたか？

明るく爽やかなあいさつができましたか？

「だいじ」を守ってそうじができましたか？

家族の手伝いができましたか？

何よりも

自分も人も大切にできましたか？

振り返り「改める」取り組みを始める3学期が今日から始まります。取り組む期間は51日間！さあ、はじめましょう。

【七日の若葉】

正月7日の朝、七草がゆを食べる風習が平安時代の公家の間で盛んに行われていたことが「枕草子」の記述からわかります。枕草子では「七日の若葉」と書かれていますが、この風習は千年の歴史を持っているのです。国際化の時代と言われますが、私達が真に国際化するためには自分自身の国や文化、風習などを学び、自分とは何かを知るところから始めなければなりません。お正月は私達の文化を学ぶ時でもあります。こどもたちに伝えていきたいものです。

羽合小学校 寺谷英則